

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1471001022
法人名	有限会社 梨の実
事業所名	梨雲ハウス平戸
訪問調査日	平成24年2月25日
評価確定日	平成24年3月31日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471001022	事業の開始年月日	平成16年1月15日	
		指定年月日	平成16年1月1日	
法人名	有限会社 梨の実			
事業所名	梨雲ハウス平戸			
所在地	(244-0803) 横浜市戸塚区平戸町1156-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成24年1月31日	評価結果 市町村受理日	平成24年5月7日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 困難な事柄に対しても、皆で話し合いながら決定しています。 ・ 勤続年数の長い職員が多いです。情報の周知徹底に努め、チーム力での介護が出来ます。 ・ ご家族の面会が多い方がいます。状況を共有し合える関係を築いています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成24年2月25日	評価機関 評価決定日	平成24年3月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>①このホームは(有)梨の実の経営である。オーナーはこの地の出身であり、かつてこの地で浜梨で知られる梨畑を経営していた。社名はその梨畑にちなんで付けられた。グループホーム梨雲ハウス平戸は、JR東戸塚駅からバス乗車時間6分で最寄停留所(国道1号線沿い)から徒歩3分の便利な場所にある。裏には神奈川県営団地がある。里山の名残りの緑が残る新興の住宅街の一画にあり、ホームの庭では野菜、果樹が育てられ、四季折々にその収穫と食卓を賑あわせている。ケアの考え方は「ご家族に寄り添って」と「個々のケアを大切に」を両立させたケアを目指している。この2つはイコールではなく、特に利用者については「その人に対して何をしてあげられるか」を知ることは難しく、チームワークで利用者の希望の把握と実現に取り組んでいる。</p> <p>②町内会に加入し、夏祭りや避難訓練など行事に参加し、ホーム行事では、ボランティア等の協力を得て、梨狩り、お花見、夏祭り、バザー、秋刀魚の会などを企画し、バザー、秋刀魚の会には地域の方をお招きし、一緒に楽しんでいる。また、地域への発信にも心がけ、元々は内部研修の機関であった「梨の実塾」をご家族→ひよどりの会(退職した職員の会)→退去されたご家族→地域に広げ、テーマに応じて呼びかけを行ない、皆で心のケアを考える活動を展開して好評である。職員のレベルアップに、この梨の実塾の果たす役割が大きい。</p> <p>③ホームでは、フルタイムは無理でもパートタイムなら尽力を尽くしたい思いの方の力も借り、2時間勤務の方には2時間をお任せすることで介護を厚くし、ホームの活力とケアへの対応力を強化している。介護計画策定については、先ず入居時にアセスメント表(6枚程度)を書いて頂いた上で、ご自宅に訪問して質問や生活を見せて頂いた上で暫定の介護計画を策定し、見守りの上本プランを策定し、家族も交えて中間で評価し、個人担当に意見を聞き、カンファレンスで検討の上、次回の介護計画を策定している。職員の教育については内部の勉強会の充実を図ることを基本とし、神奈川県、横浜市、戸塚区、ケアプラザなどの外部研修も活用し、研鑽を図っている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	豊水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパー室、事務所の目につく所に理念を掲示し、みなで共有し合い日々の生活の中で実践できるように努めています。 新職員には採用時の面談にて理念の説明をしています。 	<p>梨の実の理念はヘルパー室、事務所など目につく場所に掲示し、全職員で共有し、日々の生活の中で実践できるように努めている。新規の入職者には採用時の面談にて十分に説明し、フルタイムは無理でも、パートタイムなら尽力を尽くしたい思いの方の力も借り、2時間勤務の方には2時間をお任せすることで介護を厚くし、ホームの活力とケアへの対応力を強化している。</p>	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアの方々に支えられて毎年梨狩り・お花見・夏祭り・秋刀魚の会等行事を行なっています。 近隣の方々にも呼びかけバザー・秋刀魚の会を一緒に楽しめました。 年二回の町内の防災訓練も二年目に入り地域の一員の仲間入りが出来たようです。 	<p>地域のボランティアの方々に支えられて毎年梨狩り、お花見、夏祭り、バザー、秋刀魚の会などを企画し、バザー・秋刀魚の会には地域の方をお招きし、一緒に楽しんでいる。年二回の町内の防災訓練参加も二年目に入り、地域の一員として仲間入りが出来たと考えている。</p>	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎月一回、友愛活動チーム(地域の老人会が母体)の訪問も丸三年になり、顔の見えるお付き合いができるようになりました。 地域の中学校の体験学習の場として協力しています。限られた時間ですが認知症の理解に繋がればと考えています。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 6月、10月に開催しました。毎回12～14名ほどのご家族・地域の皆さんに集まっています。 ホームに対する要望など率直なご意見を伺う事ができ、これからの運営に生かしたいと考えています。 	<p>運営推進会議は町内会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族(平均7～8人)、利用者の成年後見人、ホーム長、代表者、職員をメンバーとし、6月、10月に開催し、毎回12～14名ほどが集り、ホーム概況、行事計画、入居者状況等を報告し、ホームに対する要望など率直なご意見を伺い、今後の運営に生かすようにしている。会議の結果を議事録に残し、関係者を始めホーム内でも報告を行い、頂いた意見は検討の上、サービス向上に繋げている。</p>	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 行政による連絡会などには積極的に参加しています。生活保護受給者やご家族の援助が得られない方に対して各担当者に相談しています。 	<p>横浜市、戸塚区、グループホーム連絡会の講習、研修会に出席、また、区主催のグループホーム連絡会では事業所の状況報告と諸相談を行い、助言を求めている。生活保護受給者の相談では、市窓口の生活保護課と連絡交流がある。地域包括支援センターの方にはひよどりの会の勉強会にご協力頂くなど、協働を行い始めている。</p>	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・基本、身体拘束はしていません。 ・転倒など危険性のあるご利用者には目配り、気配り、出来る限りそばについて見守りをしています。 ・強迫神経症、幻聴等により屋外に飛び出される方がおり、やむを得ず玄関施錠をしています。職員が常に鍵を携帯し不自由な思いをしないように心がけています。 	「身体拘束をしないケア」の実践に努めている。基本的に身体拘束は行わない。転倒など危険性のあるご利用者に対しては目配り、気配り、出来る限りそばに付き、見守りをするようにしている。現在、強迫神経症、幻聴等により屋外に飛び出す方がおり、やむを得ず玄関施錠をし、職員が常に鍵を携帯し不自由な思いをしないように心がけている。常に開けられる試みは忘れないようにしている。言葉については、ご家族が「大切にしてもらっている」と云う言葉を常に考え、改善を心がけている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・着替え、排泄、入浴時に身体に変化（痣、傷）等あるかを観察しています。 ・言葉遣いについてもフロア会議等で話し合い確認し合っています。 ・拒否等が強く介護が難しいご利用者については個人で抱え込まず共有しあうことで拘束、虐待の防止に努めています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度を活用されているご利用者が増えています。 ・司法書士の先生のお話などを伺い理解に努めています。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時にご希望があれば重要事項・契約書を参考までにお渡ししています。 ・契約時、重要事項説明書、契約書を説明しご理解いただけるよう努めています。 ・その際、ご家族の不安、疑問等を聞かせていただいています。その後の変化等についてもその都度話し合いをしています。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束をしないケア」の実践に努めています。 ・転倒の危険性がある、ご利用者には出来る限り傍について見守りをしています。 ・ご利用者の状況でやむを得ず玄関施錠をしています。職員は常時、鍵を携帯し不自由な思いをさせないように努めています。 	利用者の意見については、日常の見守り時に気付いたことを個人記録に記載し、介護計画策定時にはその個人記録を参考にすると共に、本人から直接意向を聞くようにしている。ご家族等の意見は来訪時、電話等での意見を考慮するようにしている。運営推進会議についてはご家族全員に声をかけ、出席できる人は出て頂いており、常時、平均7～8人が参加されるので、運営推進会議での意見が参考となっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回の梨の実会議、フロア会議にて職員の意見、提案、希望をすくい上げ話し合っています。 ・各フロアに意見箱を設置し職員の意見を反映できるよう努めています。 	月1回の梨の実会議、フロア会議で職員の意見、提案、希望を吸い上げ話し合っている。更に、各フロアに意見箱を設置し、いつでも意見が述べられるようにしている。管理者と職員の間は日常会話はもとより、時折のお茶や食事会、新年会、忘年会等を通じても仲間として何事でも気軽に話し合える関係が築かれており、意見要望などを聴き、運営に反映している。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員の生活スタイルを考慮し（日数・時間帯・時間数等）働きやすい職場作りに努めています。 ・勤続3年、7年の職員の方々に心ばかりですが感謝の気持ちをお伝えしています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的（年5回）に「梨の実塾」を開催し、介護技術、知識、意識の向上に努めています。 ・内部、外部研修での勉強会で学んだことをフロア会議でお話して学ぶ時間としています。また、周知してもらえよう努めています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括センターで開催されている地域の同業者との勉強会に出席しています。 ・ほーめっと主催のシンポジウムでは「看取り」について意見の交換、交流をすることが出来ました。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入居前のアセスメント時にご理解いただいた上で生活ベースだった場所に伺わせていただき生活環境、状況等を把握することに努めています。 ・不安、希望などを伺い、受け止め少しでも安心してご入居していただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の立場に立ち、悩み、不安、要望を受け止めることに十分な時間をかけることを心がけています。 ・日常生活での様子、身体の変化等をこまめに報告し、お話の時間を持つことで信頼関係の構築に努めています。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居に至るまでの時間、ご入居当初のご本人、ご家族と関わることによって何が必要なかを見極めることに努めています。 ・ご家族と長時間出かける時には、ホーム以外のヘルパーを紹介して、富士宮の知人宅に出かけられました。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・共に過ごし支えあう者として、一緒に食卓を囲み喜怒哀楽を共有し、少しでも安心して生活できるよう心がけています。 ・その時々で今までの暮らしぶりなどを伺い生活の中で出来ることを見つけ「共助」の関係作りに努めています。 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽・気楽に面会していただけるよう雰囲気作りに心がけています。 ・ご家族の気持ちを受け止めることに努め同じ意識で共に支えていく関係が築けるよう心がけています。 ・ケアプラン作成時、ご家族のできる事も盛り込んでいます。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、親戚、知人等の面会・外出・外泊はご自由に行っていただいています。 ・行きつけの美容院、友人との外食や以前お住まいだったお家を見に出かけたりして馴染みの関係が保たれるよう努めています。 	ご家族、親戚、知人等の面会・外出・外泊はご自由に行っている。行きつけの美容院、友人との外食や以前お住まいだったお家を見に出かけたりする等、馴染みの関係が保たれるよう努めている。最近、近隣の方の入居も増え、入居前に住んでいた知り合いが遊びに来られるケースも増えている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者個々の性格を理解することを心がけています。 職員の声かけでアクティビティを行い、ご利用者同士がより良い関係が築けるよう配慮しています。 職員が間に入ることでトラブル回避、良好な関係作りに努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> サービス利用終了後も個々に、また「ひよどりの会」に入会していただき関係性の継続に努めています。 ホームでの状況が落ちつき在宅での生活を希望された方が、時々遊びに来られます。また、担当のケアマネより相談をうけるなどして、協力しています。 		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティ、外出等の参加についてはご利用者の意に添うよう、その方の生活ペースを守っています。 一人ひとりの思いや希望の把握に努めています。 意思疎通困難な方には時間をかけ、職員と検討し合うことを心がけています。 	入居時に詳細なアセスメントを書いてもらい、面接でお話を聞き、ご自宅を訪問して生活環境等を確認し、本人に話を伺い、意向の把握に努めている。アクティビティ、外出等の参加については、ご利用者の意に添うよう、その方の生活ペースを守っている。一人ひとりの思いや希望の把握に努めており、意思疎通困難な方には時間をかけ、職員と検討し合うことを心がけている。保存している個人状況を必要に応じご家族に知らせし、喜んでもらっている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 慣れ親しんだ品物を置いていただいています。 季節ごとに花壇のお花を植え替えたり、お散歩がお好きな方にはそのような機会を作るように心がけています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 朝の申し送り、夜勤者への申し送りなどで一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態の把握、確認に努めています。 変化の著しい方には「行動表」を作成し情報の共有に努めています。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の「～したい」という気持ちを大切にしながら計画を立てています。 ・計画をもとに申し送り時に変化、気づきを報告し合い、現状にあったケアに努めています。 	介護計画策定については、先ず入居時にアセスメント表（6枚程度）を書いて頂いた上で、ご自宅に伺い、質問や生活を見せて頂いた上で暫定の介護計画を策定し、見守りの上本プランを策定し、家族も交えて中間で評価し、個人担当に意見を聞き、カンファレンスで検討の上、次回の介護計画を策定している。利用者の「～したい」という気持ちを大切にしながら計画を立てている。計画をもとに申し送り時に変化、気づきを報告し合い、現状に合ったケアに努めている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・介護日誌、個人記録に日々の様子を記録しています。緊急、急変時の場合は経過、内容等を紙面・ホワイトボードなどを使って情報の共有に努め、ご本人に見合った介護に努めています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・その時々のご利用者、ご家族の状況を理解し見極めることに努めています。 ・出来ることを職員間で話し合い提案し、柔軟に対応できるよう心がけています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・友愛活動チーム、尺八、車椅子のメンテナンス、畑のボランティアの方々が、定期的に訪問しています。地域の方々の力を借りながらご利用者、職員共々楽しんでいます。 ・昨年よりバザーを行い、地域の方々にも参加していただいています。 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者各々、定期的に受診、往診を受けています。 ・緊急時は、かかりつけ医の指示を仰ぎ対応に努めています。 ・かかりつけ医との良好な関係性を築き、維持できるよう心がけています。 	利用者の希望で、在宅時からのかかりつけ医の4開業医に継続で定期的に受診、往診を受け、受診結果を家族と共有し、家族の不在時にも対応出来るようにしている。往診医には24時間対応をお願いし、緊急時は、かかりつけ医の指示を仰ぎ対応に努め、良好な関係性を築き、維持できるよう心がけている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の日々の生活からの気づきをかかりつけ医、訪問看護師にお伝えし個々に見合った受診、往診、訪問看護を受けています。 		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 入院時、詳細な情報をお知らせしています。また、退院にむけて医師、看護師とは前もって打ち合わせをしています。 急変時は速やかに報告し指示を仰いでいます。 		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ケアプラン時、ご家族の意向を伺い、その旨をかかりつけ医にお伝えしています。状況によっては家族、かかりつけ医、職員の三者の話し合いを持つことで方針の共有に努めています。 	ケアプラン時、ご家族の意向を伺い、その旨をかかりつけ医にお伝えしている。終末期を迎えた場合の対応としては、家族、かかりつけ医、職員の三者の話し合いを持つことで方針の共有に努めている。現状では看護師の関係で医療連携体制はとっていないが、かかりつけ医の協力で十分な医療との連携は保てており、過去に看取りの実績もある。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<ul style="list-style-type: none"> 日中・夜間等の急変、事故時のマニュアルは目につくところに掲示しています。 また、ケアプランには、ご利用者の対応、連絡方法が記載しています。 普通救命救急の講習を適時行っています。 		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練に参加し、ホームの状況を把握していただいています。 避難訓練を行い、災害時の対応を身につけることに努めています。 備蓄倉庫を設置し、防災用品を確保しています。それらを行事等で使用することで使用方法を身につけるよう努めています。 	防災訓練では、地域の防災訓練に参加し、その折にホームの状況を把握して頂いている。ホーム独自の避難訓練も実施し、災害時の対応を身につけるよう努めている。東日本大震災以降、備蓄倉庫を設置し、防災用品を確保した。それらを行事等で使用することで使用方法等を身につけるよう努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> 年間目標である「接遇」を具体的に毎月掲げ、毎月の会議等でも確認しあい、一人ひとりの人格、プライバシーについての意識の向上に努めています。 日々の業務の中でも職員間で気づき、話し合う環境づくりに努めています。 	年間目標である「接遇」を具体的に毎月取り上げ、毎月の会議等でも確認しあい、一人ひとりの人格、プライバシーについての意識の向上に努めている。日々の業務の中でも職員間で気づき、話し合う環境づくりに努めている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの選択肢を用意することで自己決定の機会を多く作るように心がけています。 行事の参加、衣類、食事の時間等ご利用者の意思を尊重することに努めています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> お食事、お茶の時間、アクティビティ等その都度、声かけはしますが、一人ひとりの思いを大切にすることを心がけています。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 月一回、美容師の方にカットをしていただいています。（ボランティア） 「ネイル」を希望される方には色を選んでいただいています。 朝の洗顔、お顔のお手入れ、髪型等ご希望に添えるよう努めています。 		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> 食事の配膳、下膳、テーブル拭き等、職員と一緒に楽しみながら行っていただいています。 食材を切ったり、盛り付け等キッチンと一緒に立つことでコミュニケーションをとることに努めています。 	食事については、自ら調達し、独自のメニュー（1ヶ月分、1F、2F同じ）で、利用者の声を反映して提供している。食材は生協、八百屋さん、魚屋さんへ配達をお願いし、後は利用者と一緒に買い物に行っている。食事の配膳、下膳、テーブル拭き等、食材を切ったり、盛り付け等はお手伝い頂き、キッチンと一緒に立つことでコミュニケーションをとるよう努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の食事量、水分量を記録しています。 ・個々の状態に合わせてミキサー、盛り付け分量等を工夫しています。 ・水分摂取の少ない方には声かけ、好物をお出しし、摂取していただけるよう努めています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食前うがい等をして、誤嚥の予防に努めています。 ・食後、ご利用者の様子を見て、根気よく声かけして口腔ケアに努めています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄パターンを把握し、トイレ誘導を心がけています。 ・立位のとれる限り、日中はオムツを使わないように努めています。 ・毎食後の排泄の機会を逃さないように心がけています。 	「排泄チェック表」により一人ひとりの排泄パターンを全職員で把握し、トイレ誘導を心がけている。立位のとれる限り、日中はオムツを使わないように努めている。毎食後の排泄の機会を逃さないように心がけている。便秘対策としては繊維の多い食物の摂取と水分補給、体操を行って対策に心掛けているが、3日位出ない場合には、医師と相談しながら処置を行うようにしている。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーグルト、プルーン、繊維食品等お食事から摂取していただくことを目指しています。 ・毎日の体操、アクティビティ等、適度な運動を心がけています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの体調、希望、声かけによって入浴を促し、楽しんでいただいています。 ・季節ごとの菖蒲湯、ゆず湯、みかん湯等（地域の方々の協力）を楽しんでいただいています。 	入浴は、一人ひとりの体調、希望、声かけによって促し、楽しんで頂いている。体の不自由な方にはリフトで支援をしている。希望の方には毎日でも対応している。季節ごとの菖蒲湯、ゆず湯、みかん湯等（地域の方々の協力）を楽しんで頂いている。風呂場はリフト、床暖房、エアコン、乾燥機なども完備している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の様子、希望を伺い居室の明暗、室温、湿度、音、整理整頓等を心がけています。 ・一人ひとりの体調に合わせて休んでいただいています。 		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・配薬表を作り、それぞれの薬の説明書を添付し理解、周知に努めています。 ・変更時は、報告、指示、掲示など速やかに対応することを心がけています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・食事量、水分量等摂取困難なご利用者には口当たりの良いもの、好きなものをお出ししています。 ・陽気の良い日はお散歩、お買い物をして気分転換に心がけています。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・天候、体調をみて、お散歩、ドライブを楽しんでいます。 ・ご家族、知人と近くのファミリーレストランで喫茶、お食事を楽しまれています。 ・ご家族の記念日、お正月、お盆等それぞれの希望に添えるよう心がけています。 	<p>天気の良い日には利用者の体調をみて、お散歩、ドライブを楽しんでいる。ホームの菜園芋掘り、近くの公園への散歩、体操駅周辺の商店街での買い物、レストランで外食なども行っている。ご家族、知人と近くのファミリーレストランで喫茶、お食事を楽しんでいる。ドライブも折々に実施している。ご家族の記念日、お正月、お盆等それぞれの希望に添えるよう心がけている。</p>	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に出かけ、希望の品物を購入しています。 ・当ホームのバザー、近隣のバザーで好きな品物を買って楽しんでいただいています。 ・ご家族の了承を得てお財布を所持していただいている方がいらっしゃいます。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・絵手紙を作成し、季節ごとにご家族、知人の方々に送っています。 ・ご利用者、ご家族の希望を受け電話の交流を実践しています。 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下、リビング、居室にご利用者の作品や季節に応じて行われた行事の写真を貼って楽しんでいます。 ・ご家族には日々の生活の様子を理解していただけるよう工夫をしています。 ・月2回のフラワーアレンジの作品をリビングに飾っています。 	<p>玄関、階段、トイレ、風呂、全てに掃除が行き届き、異音、異臭なども無い。廊下、リビング、居室にご利用者の作品や季節に応じて行われた行事の写真を貼り、ご家族にも日々の生活の様子を見て頂けるよう工夫をしている。月2回のフラワーアレンジの作品をリビングに飾っている。プライバシーを守る意味もあって衝立などを活用し、テーブル・椅子の高さを利用者に合わせ、生活の快適さを追求している。</p>	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・和室にはソファを置き、冬はホットカーペットを敷き気ままにゴロっとしていただいています。 ・思い思いに動いていただけるよう、危険事故のないようフロアの様子を見守っています。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・馴染みの品物を置き、使い慣れた物品を使っただけいでいます。 ・配置についてもご利用者、ご家族、職員と一緒に検討し納得していただけるよう努めています。 ・寝たきりになっても見やすい場所に絵、写真、カードを置いてあります。 	<p>入居者の部屋には馴染みの品物を置き、使い慣れた物品を使って頂き、配置についても利用者、ご家族、職員と一緒に検討しながら納得して頂けるよう努めている。寝たきりになられても、ご本人が見やすい場所に絵や写真、カードを飾り、居心地良く過ごせるよう配慮している。</p>	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りでトイレ、居室の行き来が出来るような空間を作るよう努めています。 ・皆で洗濯物が干せるよう、物干し竿の高さを工夫しています。 		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸

作成日

平成24年1月31日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	希望や欲求を発することができないご利用者に対して対応が後回しになってしまう。	言葉で表現できないご利用者の気持ちを汲み取り、生き生きと生活していただく。	職員より朝の挨拶等、積極的に関わりを持ち会話を楽しんだり、会話の中より希望、欲求を汲み取る。	12ヶ月
2	49	ご家族の支援のないご利用者に対する個人的な外出の機会が少ない。	本人の希望をかなえ、生き生きとした、はりのある生活を送っていただきたい。	計画段階よりご本人に参加していただき、話し合いの仲で、具体的に決めていく。楽しい思い出がつかれるようにしたい。	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

事業所名	梨雲ハウス平戸
ユニット名	幸水

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> ヘルパールーム、事務所の目につく所に理念を掲示し常に基本に立ち戻り、皆で共有し、日々の生活の中で実践できるように努めています。 新職員には採用時の面談において理念の説明をしています。 		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアの方々に支えられ獅子舞・梨狩り・秋刀魚の会・バザー・夏祭りなどの行事が行われています。 9月、10月に行われた町内会の防災訓練に参加し、地域の一員として18名のご利用者が共に生活していけるよう積極的に取り組んでいます。 		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 老人会のボランティアグループの月一回訪問していただいています。 地域の中学生による体験学習に協力しています。短い時間ですが生活の一部を見ていただくことで認知症の理解を深めていただけるよう努めています。 		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 6月、10月に開催しました。本年度になり5名入れ替わり、以前にまして出席者が増え、雰囲気も変わりました。 東日本大震災があり、防災について意識が高く率直なご意見をいただきました。 継続的に取り組むことで運営に生かしていきたいと考えています。 		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> 行政による連絡会等には積極的に参加しています。生活保護受給者、ご家族の援助が得られない方々については、各担当者に相談しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束の勉強会を設け、その報告を行い事業所の方針でもある「身体拘束をしないケア」の実践に心がけています。 ・危険防止・防犯の為、やむを得ず玄関の施錠をしていますが、各々職員が鍵を携帯し不自由な思いをさせないように努めています。 		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄・入浴等、その際体に変化(痣・傷)があるか観察しています。 ・「勉強会」を通して虐待の認識のすり合わせをしています。言葉の暴力に対しても、その都度話し合うことで確認し合っています。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度を活用されているご利用者がおります。 ・成年後見人（ご家族・司法書士等）の方からお話しを伺いグループホームでの生活の中からの関わりを教えていただき、活用できるよう努めています。 		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に重要事項説明書を丁寧にお話し、ホームでの生活を理解していただくことに努めています。 ・入居年数が長くなり重度化に伴う不安・負担についてもそれぞれの様子を考えて話し合いに応じています。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際、外部・内部の苦情窓口を説明し連絡先を玄関の見やすいところに掲げています。 ・面会時、ケアプランの打ち合わせ時、運営推進会議、行事の中で要望・感想等をすくい上げご家族・職員間で気軽に話し合い運営に反映できるように努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる事があれば、申し送り時、休憩時間、会議等、いつでも気軽に意見が言える雰囲気づくりに努めています。 ・ヘルパールームに意見箱を設置し、意見・感想等をいただき話し合う機会を設けています。 		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員のライフスタイルを重視し（日数・時間帯・時間数）皆が安心して携われるよう、職場の環境整備に努めています。 ・緊急時の対応、突発的な事情による欠勤・休職にも柔軟に対応するよう努めています。 		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「梨の実塾」を年5回開催しています。介護技術、知識・意識の向上に皆で取り組むことに努めています。 ・内部、外部研修での学びをフロア会議等で報告しあう機会を作っています。また、周知してもらえよう努めています。 		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の他事業所の行事に参加し、交流の機会を作るよう努めています。 ・地域のケアマネジャーの集まり等に積極的に参加し、同業者との関りを大切にすることに努めています。 		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居前のアセスメント時に、これまでの生活様式・環境・状況を把握することに努めています。本人に向き合い、不安・希望等それぞれの思いを受け止め、ご入居していただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご入居にあたり、ご家族と話し合いご要望・不安・悩み等を受け止めることに努めています。 ・気軽に思いを出せるような雰囲気づくりに配慮し、面会時・お電話・行事等の中で関係作りに努めています。 		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族とアセスメントを重ねる中でその方の必要とする事を考え対応することに努めています。 		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を共にする者として、一緒に食卓を囲み喜怒哀楽を共にし、安心して生活できるように努めています。 ・御家族とも、その都度確認しあい、出来る事、やりたい事をしていただきながら生活出来るよう支援しています。（食事作り・配膳下膳・洗濯干し・片付け等） 		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族のご都合の良い時間に訪問して頂いています。 ・ご家族の気持ちを受け止め、ご利用者を支える者として良好な関係になれるよう努めています。 ・相談のうえ、ご自宅への外泊、外出、外食を楽しまれています。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族、親戚、知人等の面会外出はご自由に行っています。 ・居室で好物をご家族と召し上がったり、外食されたりしています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者同士の関係性の把握に努め、見守りや関わることで円滑に過ごして頂けるよう努めています。 ・アクティビティ等では、苦手なことを手伝わせていただくことで楽しんでもらえるよう努めています。 		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひよどりの会」を創り、退居された方々との交流に努めています。 ・退居された方からの要望等に応えられるよう職員間での話し合いに努めています。 		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望、意向の把握に努めています。 ・外出されたい方には、出来るだけ意に添うように努めています。 ・食事介助もご利用者の意思を尊重し時間に捉われずに、ご利用者のペースを大切にしています。 		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶、汁物等もご利用者の好みに合わせた温かさでお出ししています。 ・ご利用者との会話の中から、これまでの暮らし方、趣味等を汲み取るよう努めています。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の申し送り、会議等で一人ひとりの心身状態を理解・共有し、食事・睡眠・排泄などの生活リズムを把握するよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> ・病気、事故、ちょっとした体調の変化に対して、その都度ご家族に連絡しています。 ・いつも職員間で話し合い、より良い対応を考え、介護計画に生かせるよう努めています。 		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきや提案等、各自ケースノートや連絡事項等に記入し申し送り時、確認・周知し情報の共有に努めています。 ・介護日誌、個人記録の充実を心がけています。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族等の様子をみて、受診・面会・外出・外泊など柔軟に対応するよう心がけています。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のサークル（友愛活動チーム）、尺八、車椅子の補修、畑の耕作など多数の地域の方々の力を借りています。 ・定期的に訪問していただけることで、馴染みの関係になる事ができました。ご利用者・職員も一緒に楽しんでいます。 		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者各々、定期的に受診あるいは往診を受けています。 ・ご利用者、ご家族の状況の変化に伴うかかりつけ医の変更等にも、相談しながら速やかに良好に行えるよう努めています。 ・かかりつけ医とは良好な関係を築けるよう心がけています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・訪問看護師の訪問を受けています。訪問時、日々の変化を報告しています。早急に対応が必要と思われる場合は、訪問看護師、医師に連絡し指示を仰いでいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・入院時、詳細な情報をお知らせしています。退院にむけて医師・看護師と前もって話し合う時間をいただいています。 ・急変時についての対応、処置についても速やかに報告し指示を仰げるようお願いしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・ケアプラン時、ご家族の意向を伺い、その旨をかかりつけ医にお伝えしています。また、ご家族・かかりつけ医・職員の三者の話し合いを持つことで方針の共有・対応に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・日中、夜間等の急変・事故時のマニュアルは目のつく所に掲示しています。 ・ケアプラン打ち合わせ時に、ご利用者の対応、連絡先等を記載し分かり易くしています。 ・普通救命救急の講習は順次、受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・消防署の指導のもと、防災訓練・避難訓練を行っています。 ・災害時を考慮し、備蓄倉庫を設置しました。防災用具、日常生活頻、衛生用品等の確保に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・年間目標に「接遇」を掲げ、月ごとに具体的な事柄を掲げています。 一人ひとりに対して人格の尊重、プライバシーの確保の理解に努め、ご利用者の誇り等を損ねないように対応に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・食事、入浴、排泄、アクティビティ等への声かけをして、ご利用者の希望の自己決定をしていただけるよう努めています。 ・指示的な言葉遣いにならないように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・ご利用者の生活リズムを大切にされた対応に努めています。 ・起床、就寝についても生活リズム、体調等を考え、ご利用者のペースを重視した支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・衣類など、着替える時にご利用者に選んでいただきます。 ・おしゃれが好きな方には口紅、マニキュアなど職員と一緒に楽しんでいます。 ・ご利用者自身が身だしなみを心がけてもらえるよう、身近なところに鏡を置いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・昼食の支度(野菜の皮むき・きざみ・ギョーザ包み・ハンバーグ・コロッケ)を手伝っていただいています。 ・ご利用者のお誕生日等には好物を伺い、皆でお祝いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の食事量、水分量を記録しています。 ・個々の状態に合わせてキザミ・ミキサー・盛り付け分量等の工夫をしています。 ・水分摂取の少なめな方には声かけや好物をお出しして摂っていただけるよう努めています。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、各々ご利用者に合った口腔ケアの実践に努めています。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の生活リズムに合った声かけに努め、一人ひとりのサインを見逃さずに誘導するよう心がけています。 ・立位のとれるご利用者には可能な限り、トイレにお連れするよう努めています。 		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表を作成しご利用者の特性の把握に努めています。 ・毎朝ヨーグルトなど食べ物による工夫を心がけています。 ・個々に合った運動をしていただけるよう努めています。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の体調、入浴時間、好みの湯温を考えて入浴をしていただいています。 ・菖蒲湯、ゆず湯、みかん湯など（ちいきの方々のご協力）で季節を感じていただけるよう努めています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの睡眠パターンに合わせ、好きな時間帯に休んでいただいています。 昼夜を問わず、居室の明暗・湿度・室温・音量・整理整頓などを心がけています。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 配薬表を作成し、服薬の目的・用法・効能が確認できるよう努めています。 誤訳防止のため、チェック体制を作り、適宜意識の確認に努めています。 		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 陽気の良い日に、体調を見計らってお散歩・ドライブ・外食等をして気分転換に努めています。 水分・食事等思うように摂取できないご利用者には、口当たりの良いもの、好物を考えてお出ししています。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> 体調をみて、お散歩・ドライブなどを楽しんでいます。 ご家族・知人・職員との外食を楽しんでいます。 ご家族・職員とお買い物に行きます。 近くのホームセンター・コンビニに嗜好品等お買い物に出かけます。 		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ご家族のご理解を得て、お財布を所持されています。所持する事で安心されています。 ご利用者のご希望のものを購入するために一緒に出かけ喜ばれていました。 		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 希望の方にはご意向に添った対応に努めています。 ボランティアの指導のもと、絵手紙を描かれ季節ごとにご家族・知人の方々に送っています。 		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 月2回のフラワーアレンジをリビングに飾り季節を感じていただけるよう努めています。 リビング、廊下、居室にご利用者の作品や季節に応じて行われた行事の写真を貼って楽しんでいます。 		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 和室にソファを置き、好きな時間に腰掛けていただけるようにしています。 思い思いに動いていただけるように、危険・事故の無いように見守りを心がけています。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> 馴染みの物品(写真・小物・カレンダー等)を居室に置いていただいています。 居室内で快適に過ごしていただくために、家具等の配置をご利用者・ご家族・職員と相談し安全・安心に努めています。 		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> 建物内部はバリアフリーです。廊下・トイレ・浴室に手すりを備えています。 見やすいところに時計・カレンダー・ご利用者の作品・メニューボードを置き、メリハリある生活ができるよう心がけています。 		

目 標 達 成 計 画

事業所

梨雲ハウス平戸

作成日

平成24年1月31日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	27	この一年で入退居も含めて、ご入居者の状況が大きく変わりました。また、ご利用者の様子も日々違うので職員間の認識の統一を図る必要がある。	19名の職員がいます。なるべく近い認識のもと、一人ひとりのご入居者のケアにあたる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションを大切にする。また、そのための雰囲気作りを心がける。 ・朝と夕の申送りの時は、それまでの流れが分かるように伝える。 ・ケース記録へ状況や方針の書き込み等を徹底する。 	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。